

防災
セット

DIME SPECIAL 3

照明

進化する防災セットの中身と
グッズの性能を徹底検証!

本当に使える 防災グッズ はどれだ?

3.11.あの日、起きてしまったことから得た教訓を機に、防災セットやグッズを
買い揃えた人は、そろそろ見直すべき時だ。非常食や保存水の消費期限は
もちろんだが、7年の時を経て“本当に使える。ものが増えてきている。編集部では
数ある中から商品をセレクトし、それが命を守るかチェックした。

浄水器

私が
検証
します!

ヘル
メット



担当
編集者が帰宅
困難に?



津波
シェルター



充電器



電動
自転車





災害危機管理アドバイザーが教える

防災セットの正しい選び方

被災時に必要なものをまとめた防災セット。しかし、「不要なものが入っていることも多い」と災害の専門家は言う。はたして、本当に使えるものはどれなのか？



会社から自宅まで帰ることを想定

帰宅困難者用

食料と水、ライト、防寒アイテムなどが入ったセット。「東京都では被災した際には社内にとどまることを推奨しているの、基本的に使うべきではありません。ですが、「どうしても帰宅したい」人もいます。ここに紹介するセットの中身は最小限のもの。帰路に必要なものをプラスしましょう」(和田さん)



アルミを蒸着した極薄ブランケット。防寒・防湿効果が得られる。

便利なA4
収納ボックス付き



ゼニス
「帰宅支援13点セット」
7560円(税込み)

ワンショルダーのボディーバッグに12点のアイテムを収めた、A4サイズのボックス付きで、引き出しなどに保管できる。「除菌タイプのウェットティッシュを追加しておく」と(和田さん)

内容物

- ボディーバッグ ●備蓄用飲料水(500ml)
- かんぱん(100g) ●緊急携帯トイレ(大小兼用)1P×2 ●使い捨てカイロ×3 ●ウェットティッシュ(20枚) ●レスキューシート
- ランタンライト ●緊急用ホイッスル ●圧縮おしぼり4P ●防寒レインコート ●キズパン(大×小各2) ●ポケットティッシュ



早湯な味のキャンパンではなく、異なる味のクッキーにした点がお。

オフィスで
一夜を耐える
セット



河本総合防災
「1Day+ライフカプセル」
3500円

会社特備に必要な食料にこだわり、プレーン、チョコ、抹茶3種のクッキーを用意。「同様のセーフティー・ライトは使用時間が短いので、小型の懐中電灯を加えておくとより安心です」(和田さん)

内容物

- エマーゼンションクッキー(プレーン・チョコ・抹茶)各1 ●ミネラル水(500ml)×1 ●携帯用エマーゼンションA&B×1 ●5年保証防湿剤用ウェットティッシュ20枚入り×1 ●ポケットティッシュ10枚入り×1 ●携帯型セーフティーライト×1 ●緊急呼び笛

必ず起こる災害に 個人・家庭で備えるべし

「首都直下型地震が起こる確率は、今後30年間で約70%と言われています。それがどれくらい規模になるかはわかりませんが、ほぼ確実に起きるのです。来るべきその時に備えていない人は、間違いく後悔することになります」

そう話すのは、災害危機管理アドバイザーの和田隆昌さん。都市部が被災した場合、救援物資の調達、搬送などの協力態勢はできていない。それでも各家庭でも備える

必要だ、と和田さんは言う。「道路が壊滅すると物資の補給は途絶えます。それが復旧するのに最低でも3日はかかるので、その間の備蓄が必要なのです」

ならば避難所に行けば、何とかなるだろう、と考える人もいるだろう。だが、和田さんはその考えにも警鐘を鳴らす。

「避難所は必ずしも快適な環境ではないからです。食料などの配給には長い列ができるし、いざこざもあるなど、それに感染症の心配も所です。だから私は、自宅で待機

できる態勢を整える。ことを勧めています。避難所は家が倒壊した場合に行く場所と考え、そのために簡易トイレや水、食料などを備えておくべきなのです」

備蓄の手始めに便利なのが、被災時に必要なものをまとめた「防災セット」。しかし、それだけでは万全ではないと和田さん。

「各社の製品を見ると、まず、自宅で待機するために使う。のか、避難所を使う。のか明確になっていないものが多いのです。例えば、自宅待機は別として、避難所には基本的に水と食料があるので、

結局、自分を守るのは自分だけ。被災した際の状況を想像して、自宅では何が、避難所では何が必要なかを見極め、本当に使える防災セットを作りたい。」

実はそれほど必要ではありません。防災セットを、ベース。にし、必要なものは足す、要らないものは省いて使ってください」



災害危機管理アドバイザー
和田隆昌さん
全国の自治体に対しても講演会やアドバイスをを行う防災の専門家。アウトドアの知識も豊富でサバイバル術も得意。



家庭にひとつ備えておきたい

一時避難ファミリー用

3人以上で避難することを考えた複数人用。「内容物が増えるとバックパックは重くなるので、大人の男性しか背負えないものになります。そのあたりも考慮して購入しましょう。女性やお年寄りにはキャリーバッグが付属したセットを選ぶと移動も速くなるうえ、楽になります」(和田さん)



コレが使える

キャリーバッグは重い水を運ぶのに便利。自宅、避難所ともに活躍。



お年寄りでも
使いやすい
3WAYバッグ



メテックス

『EX-48 サバイバルローラー バッグ パワーグランデ』

2万5920円

被災者の意見を参考に、約40種の必需品を3人分セット。裁縫セットなど、ほかでは見られないアイテムも。「避難所に行く際はラジオや水は不要。バッグの容量も大きいので、空いたスペースに薬や貴重品などを入れましょう」(和田さん)

内容物

- 主食×3 ●副食×3 ●甘味物×1 ●保存飲料水1.5ℓ×2 ●発熱剤×3 ●加熱袋×1 ●ラップフィルム×1
- フォークスプーン×3 ●カップ×3 ●ラジオ付き多目的ライト×1 ●単3形乾電池×4 ●ボールペン付きメモ帳×1 ●使い捨てライター×1 ●マスク×5 ●生理ナプキン×6 ●トイレットペーパー×1 ●ティッシュ×1
- 簡易トイレセット×5 ●使い捨て下着(女性用)×3 ●包帯×1 ●ガーゼ付救急絆創膏×6 ●体温計
- アルミシート×3 ●収納ポーチ×1 ●ろうそく×2 ●ろ過フィルター×5 ●布粘着テープ×1 ●軍手・笛・ロープセット×2 ●雨衣×3 ●カッターナイフ×1 ●ゴミ袋×3 ●手鏡付き裁縫セット×1 ●拡大レンズ×1
- 防災マニュアル(標準)×1 ●内容物一覧×1